

Biz Life Style

[ビズスタ東京]

特別版

2017 07

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

過去から、そして未来へ。
100年間のタイムトラベル。



特集 コニャックの王「ルイ13世」という愉悦。



右から、2代目、4代目、5代目、3代目のセラーが一同に会した貴重な瞬間。2代目は92歳。現セラーマスターに継承された技法を見守る。



©EricMercier

「最速」を求める社会の中で、「100年」という贅を愉しむ。

これほど「大人」に相應しい愉しみがあるだろうか。1世紀前から届く贈り物、コニャックの王「ルイ13世」。

詳しく知りたい情報は、その場を動くことなく入手できる。欲しい商品があれば、ショップに足を運びに及ばず、電車の中でさえ購入手続きを取れる。スマートフォン全盛の現代、自然と「物事を早く」感覚が身に付いてしまった私たち。自分の判断や行動だけでなく、商品の配送など「相手の行動」まで時間短縮が進んでいるのだから、意識が変化するのも無理はない。

「早さ」が当然のスピード至上主義の世の中にあっても、ゆとりと時間をかけることが、自分が賢く認識されているように思えてきた。旅先で何もしない時間」を提案する旅行商品などはその最たるものだろう。自らで寛く時も無意味に「何かしなければ」と感じ、タブレットの電源を入れてしまう現代人には、大いに心当たりがあるはずだ。

最近では、たとえばアナログのレコードプレーヤーが売れているとか。私たちは、そうそうデジタルに疲れ始めているのかもしれないと感じる昨今。

コニャックは、フランス南西部の地名に由来する「ブランデー」の一種ではあるが、コニャック市周辺で産出されたもののみを指すことが、現地で法令化されている。ルイ13世は、名実ともにコニャックの最高級品であると考えればよいだろう。

コニャック地区は葡萄の産地だが、地質などから6つの等級に区分されている。上から順に「グランド・シャパン」「エグゼクティフ・シャパン」「エグゼクティフ・シャパン」「エグゼクティフ・シャパン」「エグゼクティフ・シャパン」「エグゼクティフ・シャパン」。

コニャックの特筆すべき点は、熟成に非常に手間がかかることだ。時間にして、最短でも何と40年。実に1200種にも及ぶ「オー・ド・ヴィー」を厳選し、樹齢100年を越すオークの樽で熟成させ、緻密なブレンドを重ねたのちに「マリアージュ」と呼ばれる後熟を4年間「ブレンド」された「オー・ド・ヴィー」が美しい調和を果たすまでもにも、じっくりと時間をかけているのだ。



専用のグラスは、ルイ13世の魅力をさらに引き出す。



ティエルソンと呼ばれる大樽からサンプルを抜き出す。



ルイ13世の製法の全てを司る第5代目セラーマスター、パティスト・ロワソー

言いようがない味の奥深さは、こうした気が遠くなるほどの努力によって保たれてきたのだ。

デキャンタも真正正銘の芸術品として、ルイ13世には、たとえばワインと比べても法定的に異なる特徴がある。それは「統一されたオリティ」だ。

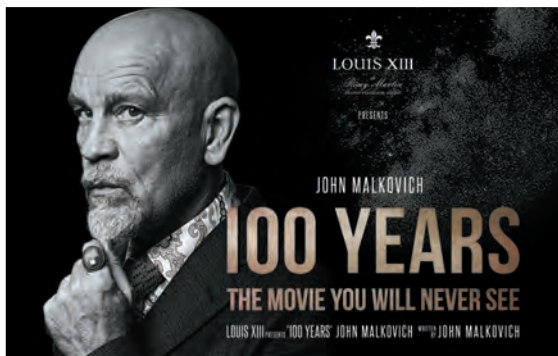
ご存じの通り、ワインには当たり年がある。同じ葡萄畑でも日照時間や雨量の違いで葡萄の味に違いがあるのだ。これはこれで味わい深いのだが、ルイ13世には、どの時代にもきたものでも品質が同等である「統一」という哲学がある。

フランスの名産を背負うこのデキャンタは、1900年のパリ万国博覧会での受賞をはじめ、輝かしい栄誉を築き続けてきた。1906年には伝説のオリ・エント急行でサー・サレ、6年後の豪華客船「ル・マティエ」号の処女航海を、さらにその2年後にはジョージ6世とエリザベス2世のベルサイユ訪問を飾る。1944年にはフランスの

解放を祝って振る舞われ、1984年にはあの超音速旅客機「コンコルド」内でも封が解かれた。「特別な日のルイ13世」は、現在でも健在だ。2015年に発表された「100 YEARS」は、何と100年後の2015年11月18日に正式公開を予定する映画プロジェクト。ジョン・マルコヴィッチが主演と監督を務めるこの作品は、100年後の未来を想像して創られており、公開当日に自動開錠される最先端の金庫内で、タイムカプセルのように厳重に保管されているという。

歴代のセラーマスターがその生涯で最も自分の作品を味わったことがないように、映画のキャストやクルーも本編の最終カットを見ることはない。ほとんど人類規模の壮大なプロジェクトだが、これこそルイ13世というコニャックを象徴している。私たちが味わうデキャンタは、先人たちの努力と技術の結晶であり、時空を超え、時間旅行者のようなものだ。これ以上に贅沢な時間には果たしてこの世に存在するのだろうか。

- (写真上から)
- グランド・シャパン・ニユのぶどう畑。
 - 自然な環境に身をゆだねながら熟成の時を過ごす。
 - ネックの部分は24金。全て手作業で行われるデキャンタの制作。
 - 100年後に公開される映画。サブタイトルは「見ることのない映画」



My Favorite Life Style



さまざまなシチュエーションで大切な瞬間を華やかに彩る「ルイ13世」。©Benjamin Colomel

自分を労う、人をもてなす。日常で飲む「ルイ13世」。



レミーマルタン ルイ13世
280,000円(税別)

「ルイ13世」
容量：700ml アルコール度数：40%

※すべてのデキャンタ、ストッパーにシリアルナンバー入オリジナルコフレとブックレットがセットになっています。
※サイズの異なる「マグナム」(1.5L)のお取り扱いもございます。
詳しくはお問い合わせください。

味わってこそ「ニヤック

もはや「人類の歴史」を想起するレベルの特別なデキャンタ。ルイ13世が、高級「ニヤック」の最高峰に位置することは、確かに否定しがたい事実だ。ステイタスの象徴のように考え、手に取ることも恐れ多く、装飾品として飾るのみ。その名を聞くと、「サイドボードに美しい敷物付きで置かれている「シーン」を想起する人も少なくないだろう。

確かに、他の蒸留酒とは違い、「ニヤック」は勢いよく飲み干すような酒ではない。特にルイ13世ともなれば、飲むどころか栓を開けることすら憚られたりする。だが、それでは前述の「先人たちが生涯と誇りをかけて造った酒」に対し、あまりに礼を欠くのではないだろうか。

と言っただけで、最後に「ルイ13世は味わうもの」ということをお伝えしたい。オフィスであれば、まずは飾っておき、プロジェクト成功のたびに仲間と祝杯をあげる。あるいは、その圧倒的な香りを楽しみながら、新たな企画へと想いを馳せるというのもよいだろう。ホームパーティーであれば、ルイ13世の存在は空気を「変えさせる。あるいは、もっと日常的に「忙し

い1日の締めくくりに心の余裕を取り戻し、明日へのモチベーションを高める最高の「労い」とするのにもよいだろう。ルイ13世は、もともとこうして味わうものなのだ。

デジタル時代に忘れたくない贅

オリエンタル急行、ノルマンディー号、コンコルド。その時代に最高と謳われた旅の歓待に使われてきたが、今年の第70回カンヌ国際映画祭では、旅へのトリビュートとして、「ルイ13世キャビン」と名付けられたクラシックなヨットが優雅な船旅に出航した。招待状を有するメゾンのパートナーや銀幕のスターたちがランチやカクテル、晩餐会やパーティーなどで開封してテイスティングするイベントが多数開催され、華やかな雰囲気の花を添えた。

世界中で祝福の瞬間に立ち会ってきたルイ13世を、日常に取り入れる飲み。時と職人の叡智が創り上げた芸術品は、この上ない癒しを運んでくれる。栓を開け、グラスに注いでゆっくりと香りを楽しみ、口に運ぶ。せわしいデジタル時代だが、大人たる者、贅に酔うことを忘れたくないものだ。

クラブルイ13世 Club LOUIS XIII by K・P Creations

「ルイ13世」は全国の有名百貨店にてお求めいただけますが、スペシャルオファーのご案内や様々な楽しみ方をご提案する会員限定サービス「Club LOUIS XIII」ではコンシェルジュが皆様のご要望にお応えし、「ルイ13世」を日々の生活に取り入れた、より豊かなライフスタイルのお手伝いをいたします。コニャックの王「ルイ13世」のオーナーとなる喜びを、ぜひご体感ください。

TEL.03-5774-0558 (Club LOUIS XIIIデスクをご指名下さい)

FAX. 03-5774-0138 E-MAIL. club_louisxiii@koyanagi.co.jp Hours. 10:00-17:00 (月-金 / M-F)

■掲載内容、「ルイ13世」についてのお問い合わせはこちら

Rémy Cointreau Japan株式会社 東京都港区麻布台1-11-10日総第22ビル6階 TEL.03-6441-3025 <https://www.louisxiii-cognac.com/>